

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 2025年第20週(5月12日~5月18日) 兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康科学研究所)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトホームページにてご覧ください。 <https://id-info.ihs.go.jp/>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減	
	今週	先週				今週	先週		
インフルエンザ	1.28	1.01	+0.27	↑	手足口病	0.08	0.06	+0.02	↑
COVID-19	1.02	1.02	±0.00	→	伝染性紅斑	1.18	0.71	+0.47	↑
急性呼吸器感染症	54.34	43.27	+11.07	↑	突発性発しん	0.30	0.33	-0.03	↓
RSウイルス感染症	0.51	0.26	+0.25	↑	ヘルパンギーナ	0.11	0.03	+0.08	↑
咽頭結膜熱	0.79	0.45	+0.34	↑	流行性耳下腺炎	0.08	0.06	+0.02	↑
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.14	1.47	+0.67	↑	急性出血性結膜炎	0.03	0.00	+0.03	↑
感染性胃腸炎	9.97	6.95	+3.02	↑	流行性角結膜炎	0.94	0.71	+0.23	↑
水痘	0.24	0.17	+0.07	↑	※2025年4月7日(第15週)より、定点数が増えとなりました。				

基幹定点の罹患数：無菌性髄膜炎 1人(0.07人)、マイコプラズマ肺炎 4人(0.29人)
感染性胃腸炎(ロタウイルス) 2人(0.14人)

※括弧内は定点あたりの患者数

※2025年4月7日から、急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは厚生労働省ホームページ(急性呼吸器感染症(ARI))をご覧ください。 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ari.html>

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)に関する情報

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)

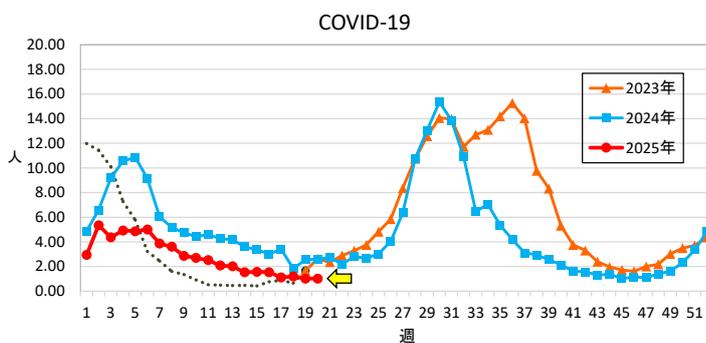
兵庫県内の定点あたり患者数は今週 **1.02人** で先週 1.02人と変わっていません。

地域別では宝塚保健所管内が3.40人と最も多く、福崎保健所管内3.00人、赤穂保健所管内2.17人となっており、年齢別では60~69歳が16%、70~79歳が13%、30~39歳、40~49歳及び80歳以上が10%となっています。

また、社会福祉施設等においては、今週2件(先週1件)の集団発生が報告されています。

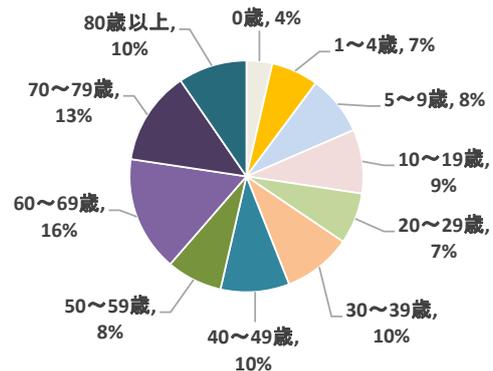
県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。

兵庫県内の定点あたり報告数推移



2023年18週以前の数値はHER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数(参考値)(国の提供データに基づく)

新規感染者の年齢階級別割合(第20週)



※2023年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は定点把握に変更になりました。

インフルエンザに関する情報

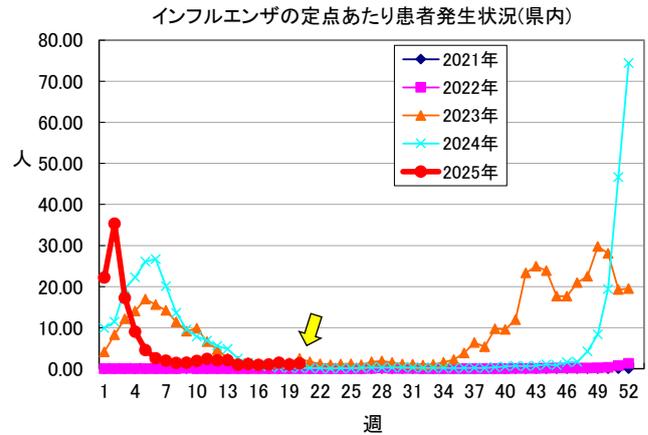
インフルエンザ

定点あたり患者数は、今週 **1.28 人** (先週 1.01 人) と増加しました。

直近の 5 週間に県内の定点医療機関から報告された患者 931 人の年齢分布では、10～14 歳が 27%、5～9 歳が 26% で、15 歳未満が全体の 64% を占めています。

臨時休業の施設別発生状況では、今週 15 件 (先週 1 件) の報告がありました。内訳は、学年閉鎖 2 件、学級閉鎖 13 件で、施設別では、幼稚園 2 件、小学校 5 件、中学校 8 件です。

また、当研究所では今シーズン、県内の患者から **AH1pdm09** 59 件、**AH3 亜型 (A 香港型)** 12 件、**B 型 (Victoria 系統)** 6 件のインフルエンザウイルスを検出しています。



全数把握感染症

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 12 人 (保健所：尼崎市 4 人、西宮市 3 人、明石市 1 人、宝塚管内 2 人、加古川管内 2 人)
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1 人 (宝塚保健所管内；無症状病原体保有者；女性 50 歳代；O126 VT1；感染地域：兵庫県；感染経路：不明) (累積報告数 18 人；有症者 6 人、HUS 1 人)
4 類感染症	<p>重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 2 人 (①姫路市；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染、②姫路市；女性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染)</p> <p>デング熱 1 人 (加古川保健所管内；デング熱；女性 20 歳代；感染地域：インドネシア；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染)</p> <p>レジオネラ症 4 人 (①姫路市；肺炎型；女性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：塵埃感染、②伊丹保健所管内；肺炎型；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：水系感染、③龍野保健所管内；肺炎型；男性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明、④豊岡保健所管内；肺炎型；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：水系感染)</p> <p>レプトスピラ症 1 人 (伊丹保健所管内；男性 20 歳代；感染地域：国内；感染経路：水系感染)</p>
5 類感染症	<p>カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2 人 (①豊岡保健所管内；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：その他、②丹波保健所管内；男性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：以前からの保菌)</p> <p>後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む) 1 人 (AIDS；感染地域：インドネシア；感染経路：同性間性的接触)</p> <p>侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人 (明石市；女性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：不明)</p> <p>侵襲性肺炎球菌感染症 5 人 (①神戸市；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無、②尼崎市；女性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：不明、③姫路市；男性 6 ヶ月；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：3 回有、④伊丹保健所管内；女性 1 歳；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：4 回有、⑤宝塚保健所管内；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明)</p> <p>水痘 (入院例) 1 人 (宝塚保健所管内；臨床診断例；女性 20 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無)</p>

梅毒 4人 (①神戸市；無症状病原体保有者；女性 80 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明、②姫路市；早期顕症梅毒 I 期；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③姫路市；無症状病原体保有者；女性 30 歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、④加古川保健所管内；早期顕症梅毒 I 期；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触)

百日咳 140人 (保健所：神戸市 66 人、尼崎市 7 人、姫路市 17 人、西宮市 4 人、明石市 7 人、芦屋管内 1 人、伊丹管内 3 人、宝塚管内 6 人、加古川管内 4 人、加東管内 3 人、龍野管内 7 人、赤穂管内 12 人、豊岡管内 1 人、丹波管内 1 人、洲本管内 1 人；性別：男性 67 人、女性 73 人；年齢群：0 歳 6 人 (ワクチン接種歴：3 回有(1 人)、2 回有(1 人)、1 回有(2 人)、無(2 人))、2 歳 2 人 (ワクチン接種歴：4 回有)、3 歳 1 人 (ワクチン接種歴：無)、5～9 歳 31 人 (ワクチン接種歴：4 回有(23 人)、無(2 人)、不明(6 人))、10～14 歳 53 人 (ワクチン接種歴：4 回有(37 人)、3 回有(1 人)、1 回有(1 人)、不明(14 人))、15～19 歳 22 人 (ワクチン接種歴：4 回有(11 人)、3 回有(1 人)、2 回有(1 人)、1 回有(1 人)、不明(8 人))、20 歳代 1 人 (ワクチン接種歴：4 回有)、30 歳代 8 人 (ワクチン接種歴：4 回有(1 人)、3 回有(1 人)、不明(6 人))、40 歳代 9 人 (ワクチン接種歴：無(1 人)、不明(8 人))、50 歳代 3 人 (ワクチン接種歴：不明)、60 歳代 1 人 (ワクチン接種歴：不明)、70 歳以上 3 人 (ワクチン接種歴：不明) (累積報告数 1,044 人、うち病原遺伝子検出 763 人)

麻しん 1人 (尼崎市；麻しん (検査診断例)；男性 10 ヶ月；感染地域：ベトナム；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無)

2025 年 19 週までに診断されたものの報告遅れ

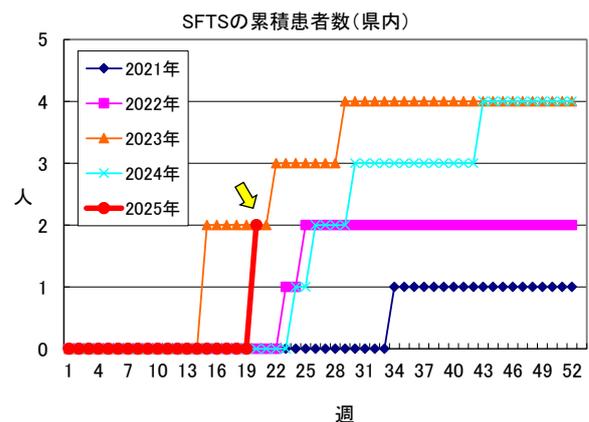
レジオネラ症 1人
ウイルス性肝炎 1人
侵襲性髄膜炎菌感染症 1人
百日咳 11人

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

今週、**2人**の報告があり、今年初めての報告となりました。性別では、男性 1 人、女性 1 人、年齢階級別では、70 歳代 2 人となっています。

重症熱性血小板減少症候群は、主に病原体を保有するマダニに咬まれることで感染します。SFTS ウイルスを病原とし、主な症状は原因不明の発熱、嘔吐、下痢などの消化器症状、血小板減少、白血球減少などが認められ、重症化すると死に至ることもあります。潜伏期間は 6～14 日で、治療薬はなく対症療法となっています。

マダニの活動が活発となる春から秋にかけて、ハイキングや草むらに入る場合は長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくする、虫よけスプレーを活用する、帰宅後すぐに入浴し着替えるなどの予防対策が必要です。また、山野へ入った 2 週間以内に発熱や発疹が出た時はすぐに受診し、その時の行動を伝えることが重要です。



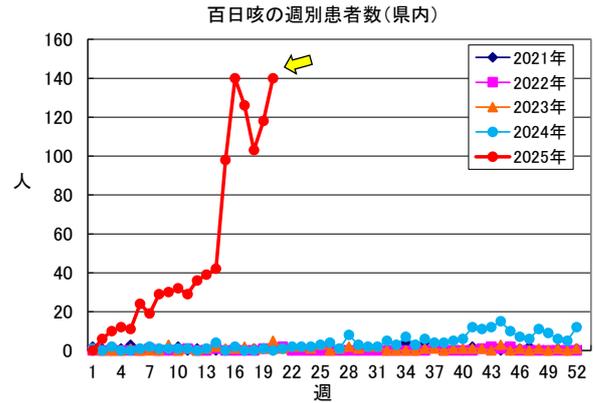
百日咳

今週、**140人**の報告があり、今年の累積患者数は1,044人となりました。

性別分布は、男性 537 人、女性 507 人、年齢分布は 10～14 歳が 46%、5～9 歳が 29%、0～4 歳が 6% の順で多く、20 歳以上は 11% となっています。

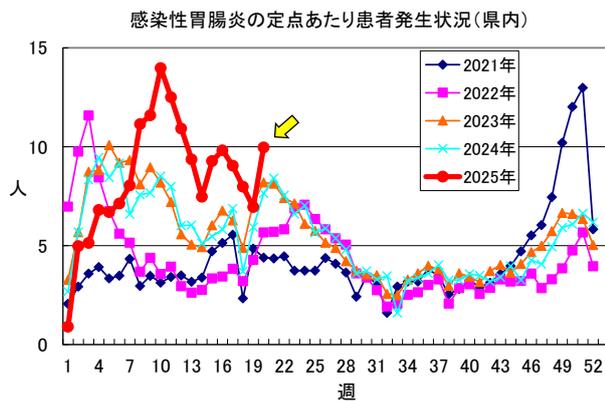
推定感染経路として家族内感染が 576 人、学校内流行が 193 人報告されています。

長期間続く咳が特徴ですが、ワクチン未接種の乳幼児が感染すると、嘔吐や無呼吸を伴い、重篤化しやすいので注意が必要です。また、乳児期にワクチン接種を受けていても、終生免疫は得られないので、成長後に感染することがあります。



目で見える動向 (県内)

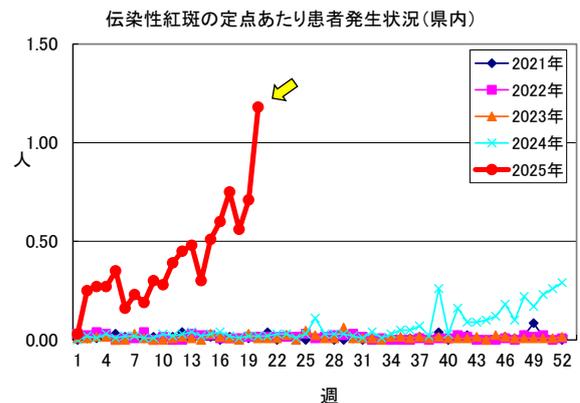
感染性胃腸炎



定点あたり患者数は今週 **9.97人** (先週 6.95人) と増加しました。

社会福祉施設等においては、今週 2 件 (先週 0 件) の集団発生が報告されています。

伝染性紅斑



定点あたり患者数は今週 **1.18人** (先週 0.71人) と増加しました。

地域的には、伊丹及び朝来保健所管内で警報レベルとなっています。

この週報はホームページ (https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html) にも掲載しています。

2022年4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <https://id-info.jihs.go.jp/> から国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトの週報 (IDWR) がダウンロードできます。